

助産師職能委員会

委員長 八澤京子

I 活動方針、活動目標

1. 活動方針

- 1) 助産師職能の課題を整理・発見する
- 2) 協会の活動方針や重点事業を会員に周知し、現場の意見を集約する

2. 活動目標

- 1) 日本看護協会助産師職能委員会との連携による課題の検討、活動の推進
- 2) 包括的母子保健推進における看護機能強化
 - (1) 両親学級の開催及び推進の検討
 - (2) 助産師出向支援事業
 - (3) 助産師の専門性強化に向け日本看護協会と連携した課題の検討と活動推進

II 活動内容

1. 委員会開催状況 6回

開催日	内 容
7月6日	<ul style="list-style-type: none">・新・継続役員自己紹介、副委員長、書記の選出および運営について・職能委員会活動計画について確認・三職能合同研修検討・キャリアアップ研修検討
8月6日	<ul style="list-style-type: none">・キャリアアップ研修準備・中国四国地区助産師合同研修会（徳島）について・両親学級開催状況について情報共有
9月9日	<ul style="list-style-type: none">・キャリアアップ研修最終確認・新人助産師研修準備・新生児蘇生研修準備・助産師職能集会内容検討・全国職能委員長会報告
11月7日	<ul style="list-style-type: none">・助産師出向支援事業調整会議報告・中四国地区別職能委員長会報告・新人助産師研修の振り返り・新生児蘇生法研修準備確認・助産師職能集会内容検討・両親学級検討（実施状況把握）・次年度事業検討
12月10日	<ul style="list-style-type: none">・助産師職能集会準備・次年度事業計画検討・両親学級検討（内容検討、アンケート作成）・島根県周産期医療協議会検討事項について

2月7日	<ul style="list-style-type: none"> ・助産師職能集会の振り返り ・新生児蘇生法研修準備確認 ・キャリアアップ研修まとめ ・両親学級検討（アンケートまとめ、担当者検討会議準備） ・次年度事業計画（内容、講師、日程）
3月9日	新型コロナウイルス感染症対策のため中止

2. 委員会活動の概要

1) 研修会の開催

(1) 新人助産師集合研修

開催日：令和元年10月19日（土） 会場：島根県看護研修センター

令和元年10月20日（日） 会場：島根県立中央病院

受講者：1日目17名、2日目18名

テーマ：（1日目）助産師の役割と使命 異常分娩トピックス

（2日目）助産診断と正常新生児管理

講 師：劇団あしふえ 有田美由樹氏

マザリー産科婦人科医院 副院長 渋川あゆみ氏

松江赤十字病院 産婦人科部長 真鍋 敦氏

島根県立大学 母性看護学教授 三瓶 まり氏

島根県立中央病院 新生児科部長 加藤 文英氏

内 容：（1日目）「リフレッシュ研修」、「助産師の役割と使命、スキルアップの必要性」、

「異常分娩・トピックス産科救急（分娩期を中心に）」

（2日目）「助産診断（分娩基礎編）」、「正常新生児管理（出生後から退院まで）」

(2) 助産師キャリアアップ研修

開催日：令和元年11月17日（土） 会場：島根大学みらい棟

受講者：35名（看護協会会員助産師）、非会員：医師、助産師、保健師、看護師、

臨床心理士27名

テーマ：「母と子のメンタルヘルス研修（入門編）」（島根県産婦人科医会と共同開催）

講 師：福岡輝栄会医師 鈴宮 寛子氏

島根大学精神医学講座講師 林田麻衣子氏

島根大学産婦人科学講座講師 皆本 敏子氏

内 容：妊娠婦のメンタルヘルスの基本的な知識や対応を多職種と共に学び実際の現場で実践できる。

(3) 新生児蘇生法講習会

開催日：令和2年1月11日（土） 会場：島根県立中央病院 受講者：10名

テーマ：「N C P R スキルアップコース」

講 師：島根県立中央病院 新生児集中ケア認定看護師 遠藤 智弘氏 他2名

内 容：新生児蘇生技術について講義、演習、テスト

(4) 助産師職能集会

開催日：令和2年1月25日（土） 会場：島根県看護研修センター 受講者：21名

テーマ：「院内助産・助産外来を進めよう～院内助産開設を目指して～」

講 師：日本看護協会 常任理事 井本 寛子氏

島根県立中央病院 産婦人科医師 岩成 治氏

島根県立中央病院 助産師 黒田 優子氏

益田赤十字病院 助産師 向井 咲恵氏

内 容：国及び日本看護協会の動きについて、島根県の周産期の現状、県内外の院内助産の取り組み状況、グループワーク、情報交換

2) 令和元年度中四国助産師職能合同研修会

開催日：令和元年9月21日（土） 会場：徳島県 徳島県JA会館

テーマ：メンタルヘルスケアワークショップin徳島

内 容：虐待予防や妊産婦の自殺予防、周産期における母子のメンタルヘルスケアの理解を深め、切れ目のない支援のための看護機能の連携強化を図る

3) 両親学級の実施

(1) 両親学級施設代表者担当者会議の開催

第1回：令和元年12月10日（火） 会場：島根県看護研修センター

第2回：令和2年3月開催予定 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

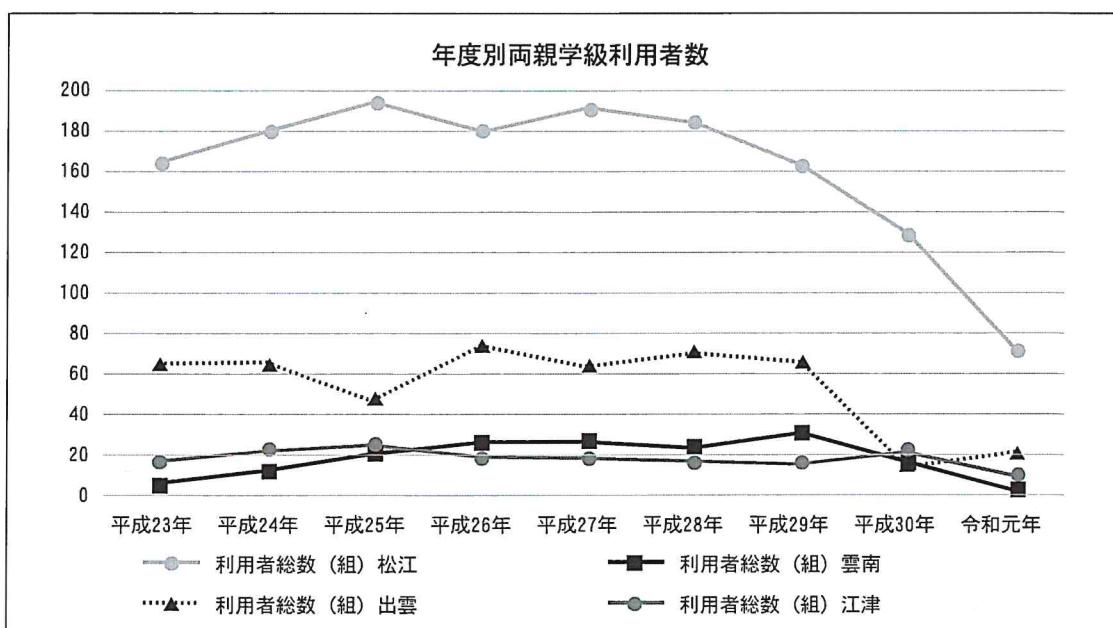
(2) 両親学級の開催

松江地区：7回開催 102組参加、 出雲地区：5回開催 25組参加

雲南地区：2回開催 4組参加、 江津地区：3回開催 14組参加

4) 両親学級のあり方検討について

昭和58年度から地域母子保健サービスの一環として両親学級を開始、その後も継続して取り組んでいた。平成に入り「地域保健法の制定」、「母子保健法の改正」等により、住民に身近な保健サービスは市町村事業に位置づき、事業は充実強化されている。また、分娩取扱い施設でも妊産婦の健康教育が定着しているために、本会主催の両親学級利用者は近年減少傾向となり、利用者がいない月もある。



事業評価

平成30年度から令和元年度の2年間で事業評価をすることになり、4市の行政保健師（母子保健担当）と職能委員等でそれぞれ事業検討会を開催した。その結果、行政の母子保健事業の中すでに対応をしていること、本会主催の両親学級を継続しなくとも支障をきたさない状況であることが確認できた。

また、両親学級施設代表者・担当者会議では、次のような意見が聞かれている。

- ・松江地区では、夜勤明けや自分の時間を使って担当しているスタッフも多いため、会員の中で対応は難しい、松江地区の各施設でも同じような教室が開催されている。
- ・出雲地区では、赤ちゃんお世話教室など開催して妊産婦への健康教育に努めている。
- ・雲南地区では、今年から3か月ごとの開催。予約制とした途端参加者が激減した。
担当者は深夜明けに従事している現状である。
- ・江津地区では、年3回を行政保健師と共同実施。独自に沐浴体験実施（夫の参加も多い）両親学級という形ではなくても、行政保健師と共同実施ができる。

以上のような事業検討会や両親学級施設代表者・担当者会の意見等について、本会理事会でも協議をした結果、令和元年度で両親学級運営を終了することが承認された。今後は、各市町村の母子保健担当者との情報交換をしながら、助産師としての専門性を活かした支援活動を目指したい。

III その他

1. 令和元年度 全国職能委員長会に参加
2. 令和元年度 地区別職能委員長会に参加
3. 令和元年度 職能委員長会に参加
4. 令和元年度 島根県周産期医療協議会に参加
5. 令和元年度 助産師出向支援導入事業 出向元・出向先調整会議に参加
6. 令和元年度 助産師出向支援導入事業 協議会に参加
7. 令和元年度 両親学級施設代表者担当者会議に参加
8. 両親学級意見交換会（松江圏域、出雲圏域）に参加
9. 令和元年度 助産師出向支援導入事業 事業報告会（感染症拡大防止のため中止）

IV まとめ

今年度は、キャリアアップ研修を包括的母子保健推進の観点から多職種合同研修として開催し、各職種の専門性を活かした切れ目のない支援の役割や連携を強化することが出来た。また大きな動きとして、昭和57年から継続してきた両親学級の企画実施について検討を重ね、時代の変化、運営の限界等を考慮し今年度で終了することとした。今後は新たな形で専門性を發揮し母子保健活動に参画していきたいと考える。